

酸性雨についての調査

〈なぜ酸性雨ができるのか〉

酸性雨は火山のばくはつによってもできる。でもいま問題になっているのは工場などで燃やす石油・石炭から出る煙や自動車・飛行機などからはきだされる排ガスがまじった雨やきりのほうである。困ったことに、こうしてはきだされるガスやすすが軽いため気流などによって遠くまではたばれる。そして空気中をただよっているうちに太陽の光や酸素などとまじりあって酸化が進み、水にとけやすくなる。つまり酸性の雨・きりとなり、地上にふりそそぐことだ。

〈酸性雨が降ると...〉 湖や沼に魚がすめなくなる。森林の木が枯れる。農作物の収量が減る。ギリシャの神殿など貴重な建物が酸によりとける。 〈1人ひとりができること〉

車に頼りきらない生活をする。

酸性雨実験

① 目的

酸性雨にあたり、とけてしまった銅像や酸性雨が原因と考えられる立派な木が枯れてしまった木があると知って、そしてこの雨が私たちの周りには降っていないから、酸性雨について調べてみることにしました。

② 実験方法

- ① 雨が降り出したら、プラスチックのコップに雨水を集める。なるべく降り始めの雨を集める土からないように、コップは地面から1m以上の高さのところに置く。
- ② スポイトで試験管に雨水を移す。
- ③ 試験管に酸性雨検査薬を4滴入れる。これはどのようにもって、軽く試験管をふる。
- ④ 酸性雨検査薬の色と試験管の液の色を比べる。液の色が赤いほど酸性が強くなる。

③ 結果

雨のpHが5.6以下なら酸性雨



④ 感想

私たちの国の雨が酸性雨だと知って、おどろきました。酸性雨の原因は、車から出るといふガスはとばつので、なるべく車を使わなければいけません。酸性雨をなくしたいと思いました。

古谷 絵莉香

西川 祐輔

三重県 亀山

亀山東小学校 6年2組